

「今週の一枚」



卵を守るモンキツノカメムシ（ツノカメムシ科）

9月の下旬、ヒサカキの葉の裏に一匹のカメムシを見つけました。つついても逃げ出しません。必死で卵を守っていました。このように、カメムシのなかには、卵塊のそばに母親がとどまって、アリなどの捕食者や卵寄生バチから卵や幼虫を守る習性をもつものがあります。かえって卵の場所を捕食者に知らせてしまうような気もしますが、実験的に母親を取り除いてみると、卵や幼虫の死亡率が高くなることがわかります。本能とはいえ賢いものです。このモンツキツノカメムシはミズキ、ヒサカキ、ヤマハゼなどに寄生します。（前藤）

（No. 24 2001. 11. 12 掲載）